

Ⅱ 配偶関係

〜 20代前半の女子の未婚率が大きく上昇 〜

本県の15才以上人口を配偶関係別にみると男子は未婚者 259,695 人 (27.3%), 有配偶者 654,974 人 (68.9%), 死別者26,456人 (2.8%), 離別者8,545人 (0.9%) となっている。一方、女子は未婚者 183,593 人 (18.8%), 有配偶者 655,443 人 (67.0%), 死別者 121,458 人 (12.4%), 離別者

16,200人 (1.7%)である。なお、未婚率を年齢階級別にみると男女ともに若い年齢層の未婚率の上昇がみられ、特に女子は大学・短大など上級学校への進学率の上昇に伴って結婚年齢が高くなる傾向にあり、20~24才の女子の未婚率は、昭和45年の69.9%から50年の67.7%へと低下したが、55年には75.9%と大きく上昇した。25~29才は昭和45年の14.5%から50年の16.9%へと上昇し、55年には更に20.3%へと大幅に上昇している。このように若い年齢層の女子の未婚率の上昇は最近の出生率の低下の大きな要因の一つとなっている。

表4 男女・年齢別未婚率

(昭和45~55年)

性別 年次 年齢	男			女		
	45	50	55	45	50	55
県平均	30.3	27.9	27.3	23.0	20.0	18.8
15~19才	99.2	99.4	99.6	97.7	98.5	98.9
20~24	87.8	86.9	90.4	69.9	67.7	75.9
25~29	44.7	46.4	54.8	14.5	16.9	20.3
30~34	11.6	13.5	19.9	4.7	4.8	5.7
35~39	4.5	5.8	7.8	3.3	3.1	3.3
40~49	2.1	2.9	3.8	2.8	2.9	2.6
50~59	1.2	1.4	1.7	1.7	2.0	2.3
60~69	0.6	1.0	0.9	1.0	1.5	0.9
70才以上	0.8	1.1	0.6	0.8	1.4	0.7

図6 男女、年齢、配偶関係別割合

(昭和55年)

